



温室効果ガス排出量検証報告書

2025年6月17日

信越化学工業株式会社
代表取締役社長 齊藤 恭彦 殿

一般社団法人 日本化学工業協会
レスポンスブル・ケア検証センター長

石井 浩



■ 検証の目的

検証の目的は、国内連結会社及び海外連結会社を含む信越化学グループより報告された2024年度のスコープ1、2及びスコープ3(カテゴリー1,3及び12)の温室効果ガス排出量についてレスポンスブル・ケア検証センターが検証を行い、第三者として意見を表明することにあります。

■ 検証の概要

- ① 検証は、スコープ1、2及びスコープ3(カテゴリー1,3及び12)の範囲であり、限定的保証水準である。
- ② 検証の判断基準は、「ISO 14064-1:2018 (JISQ 14064-1:2023)及びISO 14064-3:2019 (JISQ 14064-3:2023)」であり、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.6.0」等を算定の参考とした。
- ③ 検証は、信越化学工業株式会社及び同社の国内連結会社、海外連結会社、更に詳細確認サンプリング調査として信越化学工業株式会社鹿島工場について、温室効果ガス集計値及びそのインベントリーに関する集計範囲、元データ、手順書に基づく集計方法及び算出手法、算出数値の正確性確認等について実施した。
2024年度とは、日本国内については、2024年4月1日から2025年3月31日までの期間、海外については、2024年1月1日から2024年12月31日までの期間である。
- ④ 調査・確認は、本社の責任者、事業所の担当者・責任者からの資料の提示と説明、質疑応答により行った。

■ 検証の結果

2025年6月9日、10日及び11日に実施した検証の結果、同社グループのGHG排出量及び鹿島工場のデータ取扱い及び算出方法は適正であり、数値の正確性に関し何ら重大な誤りは認められませんでした。

■ 検証意見

温室効果ガス排出量の集計・算出工程に改善がなされ、また集計関係者のレベル向上が図られた結果、排出量算定と評価の効率化、正確性向上に大きな成果が出ていることを確認しました。

以上